

平成28年生駒市教育委員会

第7回定例会 議案

平成28年7月25日

生駒市教育委員会

平成28年生駒市教育委員会(第7回)定例会議案目録

議案番号	議 案 名	項
報告第22号	平成28年度学校訪問の結果について	1～8
報告第23号	生駒市いじめ防止等基本方針の策定について	9
議案第16号	生駒市教育大綱アクションプランの策定について	10

報告第 2 2 号

平成 2 8 年度学校訪問の結果について

生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 6 0 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 6 条第 5 号の規定により、別紙のとおり報告する。

平成 2 8 年 7 月 2 5 日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

<平成28年度定期学校訪問報告>

1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局が学校訪問することにより、学校経営、教育課程の運用、学習指導、生徒指導、安全教育、学校評価等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営が推進できるよう支援する。また、適切な人事配置ができるよう、教職員の人事に関する状況を把握する。

2 訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者(事務局職員を除く)
生駒小学校	5/24	寺田委員、中田教育長
生駒南小学校	5/27	中田教育長
生駒台小学校	5/20	寺田委員
生駒東小学校	5/30	飯島委員、上田委員、寺田委員、浦林委員、坪井委員
真弓小学校	6/2	山本委員、飯島委員、寺田委員、浦林委員、坪井委員、レイノルズ委員、中田教育長
俵口小学校	5/24	寺田委員、中田教育長
鹿ノ台小学校	5/25	浦林委員、坪井委員
桜ヶ丘小学校	5/19	
あすか野小学校	5/20	寺田委員、浦林委員、坪井委員
壺分小学校	5/10	飯島委員
生駒南第二小学校	5/17	
生駒中学校	5/23	中田教育長
生駒南中学校	5/19	
生駒北小中学校	5/10	浦林委員、坪井委員
緑ヶ丘中学校	6/21	山本委員、飯島委員、上田委員、寺田委員、神澤委員、浦林委員、坪井委員、レイノルズ委員、中田教育長
鹿ノ台中学校	5/25	浦林委員、坪井委員
上中学校	5/11	飯島委員、坪井委員
光明中学校	5/12	中田教育長
大瀬中学校	5/10	飯島委員、浦林委員

3 ヒアリング内容

	内 容
生 小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特支級児童 11 人に対し種別が 2 つであるため教員は 2 名である。児童一人一人にきめ細かな指導を行うことが難しい。 ・ 年齢構成の 2 極化が進んでいる。50 代教員の配置を願う。 ・ 校舎の老朽化が進んでいる。体育館の照明も LED への変更を検討願いたい。 ・ 学校への進入路が 5 つあるが、夜は暗いところもある。ライト、防犯カメラを設置してほしい。
南 小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話す力が弱いと感じるため、コミュニケーション能力の育成に取り組んでいる。 ・ 体づくりとなかまづくりを課題と捉えている。体育を重点に取り組んでいく。 ・ 重度の特支児童もいるなか、配慮を要する児童(家庭)への支援、外部機関との連携をしっかりと行う必要がある。 ・ 長期的視点を踏まえた校内人事・校務分掌として、若手の育成が重要である。
北 小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模校のため、一人あたりの校務分掌の負担が大きい。 ・ 教員 13 名のうち男性は 4 人しかおらず、そのうち 2 名は退職予定である。 ・ 若手教員が増えてきたため、教師の個の力量を高めるとともに学校教育目標に向かって共に歩む教職員集団を育成することが大事になってくる。
台 小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時バスが出なくなり、バス通学の児童が 7 時台のバスしかなくなった。 ・ 危機マネジメントのあり方として、学年で報告してから管理職へ伝えるようにしている。横のつながりを大切にしている。 ・ 若い教師が一人で悩みや問題を抱え込まないようにする。 ・ 「歩いて行こう自分から」のスローガンのもと、道徳の授業の研修を進めている。 ・ 学校要覧の紙にお金をかけない方向で検討し、薄い色上質紙に変更した。
東 小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援・配慮が必要な児童が多数在籍している。 ・ 偏った職員構成のため、若手教員の育成が急務である。県若手教員育成事業の拠点校として指定を受けた。 ・ 校舎の老朽化が目立つ。 ・ 不登校・通級・支援が必要な児童が多い。関係機関との連携が必要である。 ・ 先生方は朝交替で校門指導を行い、休み時間は子どもとかかわる。そのため個人の仕事が後回しとなり、勤務時間が長い傾向にある。
真 小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力は高いが個人差に開きがある。 ・ 教師構成では 30 代が少ない。ミドル年代の配当を希望する。 ・ 学力・学習状況調査の結果から、朝ご飯を食べていない子が多いことが分かった。気になる結果である。 ・ 挨拶に力を入れて指導をしている。 ・ 教室でパソコンがネットにつながらない。ネット環境の確認を希望している。

俵小	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境が厳しい児童が多い。 ・虐待などいろいろな問題に対し、主任を中心に集まって対応している。 ・学力は低くないが、格差が大きい。 ・健康保険に入っていない家庭がある。立て替え払いをしても支払いをしてもらえないケースがある。 ・プールのポンプが古い。 ・地域の協力がやや弱い。連携強化を図ることが必要である。
鹿小	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の教育力を上げることが最優先である。職員研修と自己研鑽を積み上げていく。 ・担任は朝から教室で児童を迎え、休み時間も職員室に戻ってくることもない。そのため、勤務時間が長くなる傾向にある。 ・本年度は基本的な生活習慣の確立と、基礎学力の定着が課題であると捉えている。
桜小	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望が多様化している。全ての児童が安心・安全に学校に来られるように配慮を行う必要がある。 ・20代後半から30代前半の先生を、学校を動かす中心に据えた。しかし、6年再配置でミドルリーダーが異動になることが心配である。 ・児童増で空き教室がない。現在会議室を女子更衣室に使用している。校舎外倉庫が欲しい。 ・学校の自慢は子どもたちの歌唱力の高さである。今後も継承していきたい。
あ小	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の主任・副主任化で、若手教員を育てている。 ・車の入校には通行証を発行している。放課後迎えに来る親が多い。 ・西白庭台のバス通学では、朝だけ2台増便している。 ・小中学校の特支の連携がうまく機能していなかったが、改善されつつある。
壱小	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅の人材が少ない。高学年を持てる人材が再配置でどんどんいなくなる。 ・学校アンケートの結果を見ると、大人は褒めているつもりだが、子どもはあまりそれを感じていない。 ・県指定研究員が複数いるので、連携して授業力向上を図る。 ・長欠児童が多い。支援を必要とする児童へのユニバーサルデザインでのアプローチが課題である。
二小	<ul style="list-style-type: none"> ・男性教員が少ないので、プール、力仕事、遠足などの行事で困ることがある。 ・「まるごと二小」を合言葉に児童の背景まで共通理解をした指導に取り組んでいる。 ・奈良県音楽教育研究大会に向けて、「楽しんで歌う」ことに取り組んでいる。 ・学習面では個人データを蓄積しながら親への呼びかけ、実態把握を行っている。
生中	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒にとってわかる授業」の認識が教職員と生徒・保護者の間で差がある。一層の努力が必要である。 ・生徒指導面の未然防止等の取組と、教職員の危機管理意識の共有、生徒の規範意識の醸成と基本的な生活習慣の定着を図る生徒指導の推進が重要である。 ・子どもの心に火をつける学びのプロとして、教職員の資質向上を目指す。 ・一部の教師に負担がかからぬように、全ての教員が対応できるマニュアル作りが必要である。

南 中	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒南中 5 つの約束のもと、日本一の学校を目指す。 ・創立 70 周年を迎える。「あいさつ革命」横断幕と部旗を作成した。 ・自己肯定感の向上が課題である。教師が生徒を褒めることを心掛けている。 ・不登校生徒が多い。別室登校の充実を図っている。 ・校内で工夫を図り、学校での会議・研修が勤務時間内で行えるよう進める。 ・教員が高齢化している。今後も配慮をお願いしたい。
北 中	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上が課題であり、そのためには管理職の意識向上が必要である。 ・ここ数年の転退職で職員が大きく入れ替わった。学校の中核となる中堅教員を必要とする。 ・ミドルリーダーの育成・教育課程の評価や評定について教職員の意識高揚に努める必要がある。 ・小規模校のためクラブ数が少ない。部活動の維持管理等に係る課題がある。 ・小学校の騒音が中学校へどのような影響を及ぼすのか見ていく必要がある。
緑 中	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい授業、楽しい授業、教科の魅力伝える授業構築に取り組んでいる。 ・若手教員はモチベーションも高く教育熱心ではあるが、技量不足の指導とメンタルヘル스에配慮し、授業力を含めた教師力の向上を図る。 ・ミドルリーダーの育成も課題である。 ・30代までの割合が少なく、そのうち7名が2年以内の再配置対象者である。
鹿 中	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に取り組み、発言力を高めたい。全校でのビブリオバトル大会を行う。 ・アクティブラーニングを進め、教室内の学び合いを高める。 ・成功体験、自己有用感を高めるための取組を行っていききたい。 ・命の大切さを学ばせる。「命と道德」の教育を行い、自殺予防へつなげたい。 ・スーパーエコスクールをいかにESDにつなげていくのかを検討している。 ・言ったことはきちんとできるが、今後自分で考えて動ける力を身に付けさせたい。
上 中	<ul style="list-style-type: none"> ・50代以上が2/3をしめている。職員構成のアンバランスの解消を願う。 ・職員構成に偏りがあるため、校務分掌の精査も必要である。 ・授業力向上のための職員のスキルアップも大事である。 ・eルームの機能面を改善し、不登校生徒等への対応と支援の強化を図る。 ・いじめは対応から解消へ意識改革が必要である。 ・駐車場の整備（砂埃対策）をお願いしたい。
光 中	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕教室がない。少人数指導の場所を確保したい。 ・自転車置き場を拡充してほしい。 ・職員の年齢及び男女構成の偏重より、一部の教師が負担増になることがある。 ・豊かな心を育む指導に重点をおき、考えや方針を伝えるようにしている。 ・基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上の指導にも力を入れている。 ・教職員の目標の明確化と資質向上に向けた研修の充実を図ることが必要である。
大 中	<ul style="list-style-type: none"> ・教室をすべて使用しており、空き教室がない。 ・不登校傾向生徒への対応・支援をする部屋が取れない。 ・体験を通して自己有用感・肯定感を高める取組を行う。 ・職員構成に偏りがある。男女比や年齢構成に配慮した配置をお願いしたい。 ・公開授業や研修の定例化、教科会議の定例化などにより、指導力向上へ向けた取組を進めていきたい。

4 前年度と今年度の重点目標

	H27 重点目標	H28 重点目標
生小	<ul style="list-style-type: none"> ①人間性豊かな児童の育成 ②健康でたくましい心身の育成 ③安全、安心な学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①人間性豊かな児童の育成 ②健康でたくましい心身の育成 ③安全、安心な学校づくり
南小	<ul style="list-style-type: none"> ①「健やかな体」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な学校 ・体幹を鍛える取り組み「GnP」 ②「豊かな心」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識（あいさつ・廊下歩行） ・思いやりの心 ③「確かな学力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上 ・読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①「健やかな体」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な学校 ・体幹を鍛える取り組み「GnP」 ②「豊かな心」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識（あいさつ・廊下歩行） ・思いやりの心 ③「確かな学力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上 ・読書活動の充実
北小	<ul style="list-style-type: none"> ①確かな学力 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・読書活動の充実・推進 ・体験活動 ・郷土理解居侑の推進 ・国際理解教育の推進 ・キャリア教育 ②豊かな人間性 <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育 ・規範意識の向上 ・地域教育力の活用 ・交流学习 ・感動する心の育成 ・支え合うなかまづくり ③たくましい心身 <ul style="list-style-type: none"> ・体や命を大切に作る心の育成 ・ねばり強くやり抜く体力気力の育成 ・進んで運動に親しむ環境づくり ・発達段階の応じた健康・体力づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童・生徒理解と基礎・基本の定着及び可能性の伸長 ②小中一貫教育の特色を活かした指導体制の確立 ③規律正しい児童・生徒育成と美しい学校づくり ④家庭や地域と共に取り組む新しい学校づくり
台小	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもが輝く学校 ②挑戦する学校 ③信頼される学校 	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもが輝く学校 ②挑戦する学校 ③信頼される学校
東小	<ul style="list-style-type: none"> ①体力づくりの推進 ②あたたかい学校・学級づくりの推進 ③安全教育の推進 ④言語活動を通して学び合う授業の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ①あたたかい学校・学級づくりの推進 ②体力づくりの推進 ③言語活動を通して学び合う授業の工夫 ④安全教育の推進
真小	<ul style="list-style-type: none"> ①人とのかかわりを大切にしながら ②子どもが主役の学校 ③豊かな感性を培う ④地域に信頼される開かれた学校 	<ul style="list-style-type: none"> ①人とのかかわりを大切にしながら ②体力づくりの推進 ③あたたかい心を育む ④考える力の育成

俵小	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎基本の定着 ②書く・話す活動を取り入れた実践 ③「書く力」と「話す力」の学年目標の系統だて ④ルールの徹底とマナーの育成 ⑤自己肯定感と自己有用感を高める ⑥相手の気持ちを考え互いを認め合えるよう体験的な指導。 ⑦子どもの自主性・自発性を発揮させる ⑧協力し合う喜びと役に立つ自信が得られるよう多様な集団活動の場の設定 ⑨体力・運動能力向上の取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えを持つ子、考えをまとめて表現する子、めあてを持って考えを深める子 ②ルールとマナーを守る子、自分や仲間を大切にしている子、互いの違いを認め合う子 ③みんなと話し合い解決する子、人とかかわる喜びを持つ子、みんなと進んで運動する子
鹿小	<ul style="list-style-type: none"> ①進んで挨拶をする ②きまりを守る ③外でしっかり遊ぶ ④分かる学習活動・楽しい学習活動・体験を通して学ぶ学習活動 ⑤読書に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の一日の姿勢を整える ・心豊かな子どもの育成 ②基礎学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・学びの姿勢を整える～学習規律の確立～ ・家庭生活の姿勢を整える
桜小	<ul style="list-style-type: none"> ①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成
あ小	<ul style="list-style-type: none"> ①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的な生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的な生活習慣の定着
壱小	<ul style="list-style-type: none"> ①「話す・聞く」の関心・意欲を5ポイント向上 ②図書貸出冊数目標、年間20,000冊 ③運動量の確保と楽しい体育学習の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ①「話す・聞く」の関心・意欲を5ポイント向上 ②図書貸出冊数目標、年間20,000冊 ③運動量の確保と楽しい体育学習の創造
二小	<ul style="list-style-type: none"> ①人権教育、規範意識の向上 ②すすんではたらく ③読み、書き、計算の力を付ける ④楽しんで体を動かす 	<ul style="list-style-type: none"> ①すすんではたらく ②読み、書き、計算の力を付ける ③楽しんで歌を歌う ④楽しんで体を動かす <ul style="list-style-type: none"> ・「まるごと二小」
生中	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒にとって楽しい学校 ②保護者や地域に信頼される学校 ③組織として機能する学校 	<ul style="list-style-type: none"> ①生き生きと活動する学校づくり ②自ら学び考える力を育てる学習指導 ③豊かな人間性を育み、生き方を深める指導 ④生命を大切にする心や人権を尊重する人権教育の充実 ⑤明るく健やかな生活形成とたくましい体力づくり ⑥教職員の資質向上と機能的で安全な環境整備

南中	①基本的な生活習慣の確立及び規範意識の醸成 ②教育相談体制の確立 ③学習意欲や自主的な学習態度の育成及び読書の習慣の向上 ④生徒会活動や係活動等の活動内容の周知 ⑤開かれた学校づくり	①魅力ある学校づくり ②「確かな学力」の定着 ③人間性豊かな生徒の育成 ④安全で開かれた学校づくり ⑤健康でたくましい心身の育成
北中	①自ら考える力と正しい判断力を養い、みんなと支え合う生活の中で新しいものを創造していく力を養う ②美しいもの、崇高なものに感動する豊かな情操を養う ③健康でたくましい心身を育てるとともに、自己の生活をねばり強く切り開いていく力を養う	①自ら学ぶ意欲と態度を培う学習指導の推進 ②豊かな心を育てる道徳教育・生徒指導の推進 ③健康な心身とたくましい体力づくりの推進 ④特別支援教育の充実 ⑤生徒一人一人のために研鑽に励む
緑中	①安全で開かれた学校 ②確かな学力の育成 ③自尊感情や自己有用感の向上 ④健康でたくましい心身を育成	①安全で開かれた学校 ②確かな学力の育成 ③自尊感情や自己有用感の向上 ④健康でたくましい心身を育成
鹿中	①わかる授業づくりの推進 ②読書活動の推進 ③「目指せあいさつ・そうじ日本一」運動の推進 ④積極的な生徒指導の推進（いじめ・相談活動） ⑤環境教育（エコ教育）の推進（エコスクールの推進）	①わかる授業の推進 ②積極的な生徒指導の推進 ③心を耕す教育の推進 ④読書活動の推進
上中	①全校を挙げての授業研究 ②不登校への対応 ③いじめに対する的確で有効な指導	①授業力向上のための授業研究 ②不登校生徒への支援 ③いじめ解消に向けた取組
光中	①生徒にとって一日が楽しい学校 ②組織として機能する学校 ③保護者と地域に信頼される学校	①生徒にとって一日が楽しい学校 ②組織として機能する学校 ③保護者と地域に信頼される学校
大中	①教科指導の充実 ②生徒指導の充実 ③開かれた学校づくり ④組織として機能する学校づくり	①授業力の向上 ②きめ細やかな生徒指導 ③開かれた学校づくり ④「チーム大瀬」として教育活動の推進

	生小	南小	北小	台小	東小	真小	俵小	鹿小	桜小	あ小	壱小	二小	生中	南中	北中	緑中	鹿中	上中	光中	大中
①			○		○	○	○	○				○	○	○	○		○	○		○
②			○							○	○		○	○			○			○
③	○	○	○	○	○							○		○		○	○			○

- ① 昨年の重点課題を練り直した学校
 ② 具体的な課題を設定した学校
 ③ 学校の独自色を強く打ち出した学校

報告第 2 3 号

生駒市いじめ防止等基本方針の策定について

生駒市いじめ防止等基本方針の策定について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 6 0 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 6 条第 5 号の規定により、下記のとおり報告する。

平成 2 8 年 7 月 2 5 日

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

記

いじめ防止対策推進法第 1 2 条の規定に基づき、「生駒市いじめ防止等基本方針」を策定する。

議案第 16 号

生駒市教育大綱アクションプランの策定について

生駒市教育大綱アクションプランの策定について、別冊のとおり提出する。

平成 28 年 7 月 25 日

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭